

令和2事業年度

公益財団法人周南市ふるさと振興財団 事業報告

周南市ふるさと振興財団は、「市民自らが行う地域づくり活動の振興」を目的として設立された、「ふるさと振興を使命とする財団」である。

地域で支え合い、助け合う「絆」が改めて見直される中、地域課題の解決や、特色を生かした個性的なふるさとづくりに取り組むコミュニティ推進組織の重要性が高まっており、財団にはコミュニティ活動の中間支援組織として、地域の自主的・主体的な活動を促すため、より大きな役割を果たしていくことが求められている。

令和2年度は、コロナ禍での各地区コミュニティ推進組織の活動のPR、市民センター主事を対象とした組織のヒアリング調査、これまで助成した活動の現状調査等に重点を置き事業展開していった。また、今年度、周南市の最大イベントとなった「がんばろう周南！STAYHOME花火」を全地区コミュニティ推進組織に提案し、24地区が開催し、支援を行った。

市民活動では、特色ある市民活動の助成、周南市から受託している市民活動支援センターを拠点に市民活動講座の開催(コロナ禍のためライブ配信を活用)や徳山駅前賑わい交流施設と連携し、市民活動団体のオープントーク等を開催し、市民活動を支援した。また、新たな市民活動の創出体制について、専門家・有識者を交えた検討やオンライン視察を行った。

さらに、周南市の将来を担う子どもたちの健全育成、中山間地域の連携のため、指定管理者として周南市大田原自然の家の管理運営を行った。

I 市民が輝くふるさとづくり

市民一人ひとりが、地域コミュニティ活動やテーマ型の市民活動の担い手として、自主的・主体的に参加するふるさとづくりを支援することで、魅力あるふるさとづくりを目指した。

1 コミュニティ（地縁型）

① コミュニティ情報の提供

決算 222,167 円

◆ 各地区コミュニティ情報の収集（随時）

訪問による情報収集 182件

- ・ コミュニティ活動
- ・ 各地区の名所・史跡 等

◆ 周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページの運営

閲覧ページ数 月約8,000（前年11,300）

◆ 周南市コミュニティ推進連絡協議会広報誌の発行（年4回）

会長送付・公共施設設置など約400部配布

◆ 各種メディアによるコミュニティ活動PR等への協力

夜市手作りマスク・三丘防災キャンプ・久米雑草アート
戸田プチ花いっぱい運動・STAYHOME 花火等、特集として掲載

◆ フェイスブックによるリアルタイムな情報提供

閲覧者数 1投稿につき約200人から800人



ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P6

公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 エ. コミュニティ活動に関する情報の収集と発信

② 先進地視察

決算 0 円

◆ 隔年のため今年度実施なし

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P7

公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ア. 特色あるコミュニティ活動への助成

③ 特色あるコミュニティ活動への支援

決算 451,546 円

◆ 特色あるコミュニティ活動助成金 上限額10万円

「あいさつ坂」看板の取り換え

- ① 実施団体 秋月地区コミュニティ推進協議会
- ② 内容 地区全体で大切にしているあいさつ運動のシンボル「あいさつ坂」看板の改修
- ③ 総事業費 100,000円
- ④ 助成金額 100,000円



地域イベント活性化のための地域通貨作成

- ① 実施団体 生きがいのある須金をつくる会
- ② 内 容 地域内外から年間を通じて須金地域へ集客するための地域通貨作成
- ③ 総事業費 101,680 円
- ④ 助成金額 100,000 円



戸田地区プチ花いっぱい運動

- ① 実施団体 戸田地区コミュニティ推進協議会
- ② 内 容 地域住民が庭先で花をプランター栽培するコロナ禍で生まれた新事業
- ③ 総事業費 95,546 円
- ④ 助成金額 95,546 円



◆ **活動費助成金 上限額5万円（2年目：新規制度）**

第38回岐山まつり

- ① 実施団体 岐山地区コミュニティ推進協議会
- ② 内 容 雨天時のイベント開催にも使用できるテントブルーシート作成
- ③ 総事業費 55,000 円
- ④ 助成金額 50,000 円



新南陽駅前通りイルミネーション

- ① 実施団体 富田東地区まちづくり協議会
- ② 内 容 駅前通り活性化のためのイルミネーション購入
- ③ 総事業費 53,375 円
- ④ 助成金額 50,000 円



Xmas イルミネーション点灯

- ① 実施団体 桜木地区コミュニティ推進協議会
- ② 内 容 城ヶ丘公園のイルミネーションの為の機材・垂れ幕購入
- ③ 総事業費 75,626 円
- ④ 助成金額 50,000 円



ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P7

公益目的事業1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ア. 特色あるコミュニティ活動への助成

④ コミュニティ推進組織・活動へのコーディネート

決算 560,418 円

◆ 各地区コミュニティ推進組織の現状把握

各地区の総会資料収集（4月～7月）

各地区の総会出席（4月～7月） ※ 書面決議多数有

◆ 各地区コミュニティ推進組織の調査分析（随時）

訪問調査 85件

- ・ 主事対象に各地区のヒアリング
- ・ 特色あるコミュニティ活動助成金の現状
- ・ 環境創生21プランの現状
- ・ コロナ禍によるコミュニティ活動 等

◆ 各地区コミュニティ推進組織の相談対応・提案 等（随時）

相談対応 134件

提案 177件

その他 36件 計 347件

- ・ ホームページ作成について
- ・ 夢プランについて
- ・ 地区の案内・史跡看板について
- ・ STAYHOME 花火の開催（24地区）について 等

◆ 組織間（地区間）ネットワークの形成支援

西部・東部ブロック主事会主催地域づくり講演会

① 開催期日 令和2年11月29日（日）

② 場 所 周南市文化会館 3階展示室

③ 講 師 塩満直弘（山陰線阿川駅店舗 Agawa）

④ 内 容 西部主事会より、地域づくり講座の開催についての相談を受け、講師の紹介等を行い当日までの開催協力及び当日のナビゲーターを務めた。

⑤ 来場者数 約30人

北部ブロック主事会主催地域づくり講演会

① 開催期日 令和3年2月21日（日）

② 場 所 長穂市民センター 会議室

③ 講 師 原田尚美（やまぐちシールドプロジェクト）

④ 内 容 北部主事会より、地域づくり講座の開催についての相談を受け、講師の紹介等を行った。

⑤ 来場者数 約30人



◆ 地区行事の開催支援

新春寄席開催

※ コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P7

公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業

⑤ 若者参画の推進

決算

0 円

◆ 若者の地域参画推進プラン

若者による各団体のネットワーク形成に向けた取組

- ・ 10/04 オンライン移住フェアへの参加支援
- ・ 10/30 若い世代の移住対応について考える会

若者の各団体による先進地視察研修

若者による地域活性化グループの立ち上げ支援(随時)

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P7

公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業

⑥ ふるさと応援隊の支援・推進

決算

0 円

◆ 活動支援

年間2回活動 延べ約20名参加

主な活動

地区コミュニティ活動の応援

- ・ 須金なしぶどうまつり 2020・須金市日 2021



ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P7

公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業

⑦ 周南市コミュニティ推進連絡協議会事務局の運営

決算 16,239 円

◆ 事業支援

主な事業

総会（書面決議）

正副会長会議・役員会・交流集会・三団体交流会

三団体視察研修・若者参画事業は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止

8/8～29 STAYHOME 花火

24 地区（23 か所）で開催

12/5（土）事務局担当者研修会

随時 イベント器材の貸出・修繕 等



ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P7

公益目的事業 1 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援

2 市民活動（テーマ型）

① 市民活動情報の提供

決算 34,760 円

◆ 市民活動情報の収集・提供（受託事業）

周南市市民活動支援センター管理ページの運営

市民活動情報誌及びメールマガジンの発行

周南市市民活動支援センターでの情報発信



ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P8

公益目的事業 1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信

② 特色ある市民活動への支援

決算 264,779 円

◆ しゅうなん元気活動支援事業助成金

子育て家族が安心して楽しめるマルシェ開催事業

① 実施団体 しゅうなんママライブ

② 内 容 未就学児をもつ親の交流の場として、それらをターゲットとしている企業とのマッチングによるマルシェ開催

③ 総事業費 101,622 円

④ 助成金額 100,000 円



徳山あちこちクリーンプロジェクト見える化事業

- ① 実施団体 周南市中心市街地活性化協議会
- ② 実施内容 当会事業である駅前清掃プロジェクトの一体感を持たせより多くの人に周知・PRするシンボルグッズ（マフラータオル）作成
- ③ 総事業費 140,800 円
- ④ 助成金額 100,000 円



出店者のストーリーを知ってもらう為の

店名表示板作成事業

- ① 実施団体 しゅうなんシビックマルシェ実行委員会
- ② 実施内容 主催開催しているマルシェにおいて、スペースの限られた会場内で出店者の魅力が一目で来場者に分かる表示板作成
- ③ 総事業費 53,875 円
- ④ 助成金額 53,000 円



令和3年度募集

期 間 令和3年1月15日（金）～2月17日（水）

周 知 市広報、財団・周南市市民活動支援センターの各ホームページ、市民センター等へ案内配布、周南市市民活動グループバンク登録グループへのEメール送付

審査委員会

期 日 令和3年3月18日（木）18:00～20:00

場 所 周南市港町庁舎 1階 会議室

審査員 6名（評議員2名、学識経験者、地域づくり推進課長、常務理事、事務局長）

内 容 申請者による事業説明（プレゼンテーション）と質疑応答をもとに、審査委員が事業の先駆性・問題提起・効果等10項目について5段階で採点を行い、審査委員で協議し、助成対象事業を決定した。

採択事業

Link Smile 米光のHP作成による認知事業

- ① 実施団体 Link Smile 米光
- ② 実施内容 元保育園施設を利用した子育て支援活動を広く知ってもらう為のHP作成
- ③ 総事業費 150,000 円
- ④ 助成金額 100,000 円

自治会、学生と連携した『地域交流拠点づくり』事業

- ① 実施団体 有楽町地域ラゴ
- ② 実施内容 有楽町において自治会や徳山大学学生と協力して地域交流拠点づくりを目的とした定期的なイベントの企画・開催。
- ③ 総事業費 184,000 円
- ④ 助成金額 100,000 円

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P8

公益目的事業1 (2) 市民活動(テーマ型)の支援 ア. 特色ある市民活動への助成

③ 市民活動団体への支援

決算 8,534,133 円

◆ 市民活動講座の開催

市民活動講座

「市民活動に活用できる助成金講座(市民活動編)」

期 日 令和2年12月3日(木)

場 所 シビック交流センター 交流室1

参加者 3名参加+ライブ配信視聴約5名

講 師 森永小波(公益財団法人山口きらめき財団)
國兼(周南市ふるさと振興財団)



「市民活動に活用できる助成金講座(コミュニティ活動編)」

期 日 令和2年12月5日(土)

場 所 港町庁舎 会議室

参加者 5名参加+ライブ配信視聴約3名

講 師 森永小波(公益財団法人山口きらめき財団)
國兼・安西(周南市ふるさと振興財団)



市民活動講演会

「コロナ禍で生まれる不安に飲み込まれないために」

(講師: オンライン 会場での視聴+ライブ配信)

期 日 令和3年2月23日(火・祝)

場 所 徳山駅前賑わい交流施設 3階交流室2
防府市地域協働支援センター 会議室

参加者 13名+ライブ配信視聴約30名

講 師 高橋聡美(中央大学人文科学研究所)



◆ 全国の市民活動支援センターの現状調査(受託事業)

県内の市民活動支援センターとの情報交換

- ・ 防府市市民活動支援センターとの情報交換
理事会、総会及び事業への参加
- ・ 県民活動ネットワーク会議への参加

全国の市民活動支援センターの情報収集



◆ 周南市市民活動支援センターの管理運営(受託事業)

周南市市民活動支援センターの運営

来館者数: 1,687名 利用件数: 826件

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/6~5/25まで休館

街と駅との連携会議への出席(毎月第1・第3水曜)



◆ 徳山駅前賑わい交流施設指定管理者と連携した事業の開催
月例ミーティングの実施(毎月下旬開催)

駅前賑わいオープントーク/きさらぎオープントーク

期 日 2/12 周南けん玉教室
2/18 周南なずなの会
2/25 周南市公園愛護会緑の会 11
3/05 周南映画祭実行委員会

場 所 徳山駅前賑わい交流施設 1階共有スペース

周南きさらぎ文化祭

期 日 令和2年2月3日(水)～28日(日)

場 所 徳山駅前賑わい交流施設 全館

実施事業数 8事業を連携開催

2/3 オープニングセレモニー(登壇)
2/6 いどばたカフェ(協力)
2/8 いどばたカフェオンライン(協力)
2/12 きさらぎオープントーク(主催)
2/18 きさらぎオープントーク(主催)
2/23 市民活動講演会(主催)
2/25 きさらぎオープントーク(主催)
常時 市民活動常設展(主催)



◆ 新たな市民活動の創出体制の構築

新たな市民活動を創出するための支援体制について専門家や有識者を交えた検討・構築

専門家：長浜洋二氏

協議回数：計45回

オンライン視察

6/26 いちのせき市民活動支援センター

講師：佐々木牧恵氏 参加者数：32名

7/2 特定非営利活動法人おっちラボ 一般財団法人うんなんコミュニティ財団

雲南市役所

講師：小俣健三郎氏、村上尚実氏、佐藤満氏 参加者数：37名

7/7 特定非営利活動法人岡山NPOセンター

講師：石原達也氏 参加者数：30名

県内視察

7/21 山口市市民活動支援センターさぼらんて、特定非営利活動法人市民プロデュース

7/28 阿武町まちづくり推進課

提案書の作成、提出(10月末)

◆ NPO 法人等の市民活動団体支援業務

「共創プロジェクト」の平成30年度・令和元年度事業認定団体（全17団体）に対する
中間ヒアリング（10月）、『価値』見える化シート」の取りまとめ（3月）

アドバイザーによる支援 アドバイザー：堀江厚志氏、和田真純氏

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P8

公益目的事業1 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 イ. 市民活動に関する講座の開催 ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信

Ⅱ ものからひとへのふるさとづくり

地場産品には環境保全や伝統・文化の継承といった働きもあることから、地域おこしの
ために欠かせない原動力のひとつである。

そこで、地場産品を通して都市と農山漁村との人とひととのふれあい・交流を大切にしながら地産地消を推進した。また、周南市の地場産品について興味・関心を持ち、より理解を深めるきっかけづくりと体験を通じた学ぶ場を提供し、もの（地場産品）からひと（ふるさとづくりの担い手）へと心のつながるふるさとづくりを目指した。

① 地場産品情報の提供 決算 0 円

◆ 地場産品、生産者の思い入れ（作るこだわり、苦勞、生きがい等）、料理方法（郷土料理・行事食・地域食等）の紹介
ホームページ等による情報提供

◆ フェイスブック・ホームページによる情報提供

アドレス <http://gokan-furusato.org/core/>

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P9

公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援

② 地場産品生産者への支援 決算 0 円

◆ ふるさと朝市グループへの協力

毎週火・木曜日に朝市を花島町で開催（5グループ）

・ PR や相談対応等で協力

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P9

公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援

③ 地場産品を活用した連携支援

◆ 各地区コミュニティ推進組織との連携

ふるさと朝市グループによる徳小区コミ主催の青空市場への出店協力支援

◆ 市民活動団体等との連携

一般財団法人周南観光コンベンション協会との連携

- ・ 理事会（2ヶ月に1回）
- ・ 周南みなとまつり実行委員会への参加

徳山大学と連携した取り組み

2020年度地域ゼミ「周南地域の農と食と自然を発信する」
経済学部 大田先生

講師の紹介や授業進行などの支援

授業での周南地域の特産品についての紹介（11/12）

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P9

公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援

決算 〇 円



Ⅲ 明日へつなげるふるさとづくり

周南市の各地域で培われてきた伝統や文化、豊かな自然と風土、活発な産業活動などの地域資源を基盤としたふるさとづくり情報を発信した。また、次世代のふるさとづくりを担う子どもたちや青少年を育成するためのふるさとづくり拠点施設を管理・運営した。

① ふるさとづくり情報の提供

◆ 財団ホームページの運営

◆ フェイスブックによるリアルタイムな情報収集・提供

◆ 機関紙の発行

年1回 2,300部

各地区コミュニティ推進組織総会の参加者に配布

その他、各地区公共施設等で配布

◆ 周南市に関わる書籍・映像・資料等の収集・貸出

戸田地区コミへ戸田の歴史について資料提供

ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P9

公益目的事業1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア. ふるさとづくりに関する情報の提供

決算 175,264 円



決算 34,579,856 円

② ふるさとづくり拠点施設の管理・運営

◆ 周南市大田原自然の家

指定管理期間 令和2年度

利用者数 3,729人 (R1:8,045人)

※ 自然災害及び新型コロナウイルス感染拡大防止によるキャンセル等 6,180人 (新型コロナウイルス感染拡大防止の為、4/6~5/25の期間は閉所)

使用料収入 67,485円 (R1:311,035円)

利用実績の詳細は15ページのとおり

利用者評価 満足度 3.92 スタッフ 3.99 (4点満点)

体験プログラムの提供

自然・食・人とふれあいながら学ぶ40種類の体験プログラムを提供

子ども・家族対象の体験事業 (40事業の内11事業中止)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、4/6~5/25の閉所期間及び、宿泊を伴う主催事業を中止し、定員を減らすなどの対応を実施。さらに、コロナ禍に対応した9事業を新規に企画 (詳細 P13-14)

全事業参加実人数 1,444人 (詳細 P13-14)

食農・食育体験農園の管理

中高生ボランティアによる「シャトルファーム」事業は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

ボランティアと指導者の育成・連携

(9事業の内、2事業中止)

コロナ禍に対応し、オンライン等も活用してボランティア指導者育成をする事業を実施

研修会等の参加人数 425人 (詳細 P14)

地域との連携

中山間地域ふれあい支援事業「ふるさと・棚田・ふれあいキャンプ」は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

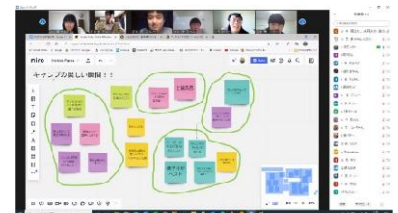
自然の家の情報提供

ホームページやフェイスブックによるリアルタイムな情報提供

機関紙「おおたばら」 15,000部配布

(他に年4回市内小学生に事業チラシ配布)

大田原自然の家



ふるさとづくり推進プランⅢ「五感で感じるふるさと周南」P9

公益目的事業 1 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営

子ども・家族対象の体験事業

事業名	期日・期間	実人数	延べ人数
春のわんぱく村	(5/3～5 2泊3日)	コロナ感染予防のため中止	
夏のわんぱく村	(8/25～28 3泊4日)	コロナ感染予防のため中止	
冬のわんぱく村	(1/4～6 2泊3日)	コロナ感染予防のため中止	
ワイルドにいこうぜ！夏の子ども村	(8/12～14 2泊3日)	コロナ感染予防のため中止	
色いろ！味あぢ！秋の子ども村①	(11/21～22 1泊2日) →11/15の日帰りで実施	18人	18人
色いろ！味あぢ！秋の子ども村②	(11/21～22 1泊2日) →11/22の日帰りで実施	18人	18人
たき火 de エンジョイ！春の子ども村	(3/20～3/21 1泊2日) →3/21の日帰りで実施	9人	9人
忍ニン！修行でござる！東風の子ども村 木の葉の巻	(3/27～3/29 2泊3日) →3/27の日帰りで企画	実施定員に達さなかった為 中止	
忍ニン！修行でござる！東風の子ども村 炎の巻	(3/27～3/29 2泊3日) →3/28の日帰りで実施	7人	7人
のびのびいきいき自然児キャンプ	8/16～22 (6泊7日)	コロナ感染予防のため中止	
50 kmを歩く学び・交流の旅	12/26～28 (2泊3日)	コロナ感染予防のため中止	
ふるさと・棚田・ふれあいキャンプ	9/19～21 (2泊3日)	コロナ感染予防のため中止	
大地を耕し作物をつくる家族のつどい	5/30～11/23 (8回実施)	43人	405人
畑にあつまれ！育てて食べよう	6/7～11/15 (6回実施)	38人	171人
おおたばらどろんこむら	(5/17～11/29 4回シリーズ) →11/1, 11/29に変更	31人	62人
キャンプはじめのだいー歩	4/25～26 (1泊2日)	コロナ感染予防のため中止	
手作りザオとシカケ de さかなつり	5/9	コロナ感染予防のため中止	
米こめ田植え大作戦	5/31	コロナ感染予防のため中止	
ねんどであそぼう！	6/4, 6/20, 7/12	46人	79人
Family でたなばた	7/7 (オンライン)	13人	13人
☆夏休み子ども体験事業 (木工、謎解きアドベンチャーラリー、陶芸)	7/30, 7/31, 8/3, 8/6, 8/7, 8/13, 8/14	153人	153人
親子木工教室	8/2	36人	36人
☆夏休み子どもカヌー体験事業	8/9, 8/15, 8/22, 8/23 雨の為4日間中止	38人	38人
ファミリーアドベンチャーカヌーツーリング	10/4	16人	16人
米こめ稲刈り大作戦	10/11	24人	24人
☆ハイブリット体験活動 木 botLab	10/18, 10/31	4人	8人
☆謎解きアドベンチャーラリーⅡ	11/8	18人	18人
☆ファミリーたき火塾	11/3	18人	18人
秋の自然まるかじり	11/14	26人	26人

令和2事業年度 事業報告

事業名	期日・期間	実人数	延べ人数
☆第2回ファミリーたき火塾	11/21	19人	19人
自然となかよし☆ネイチャークリスマスリース作り	11/28	24人	24人
手作りコンニャク工房	12/13	16人	16人
☆山陽道を歩く学び・交流の旅①	12/26	8人	8人
☆山陽道を歩く学び・交流の旅②	12/27	11人	11人
手作りベーコン工房	2/7	28人	28人
手作りみそ工房	2/28	24人	24人
☆ひなまつりキャラバン	3/3	141人	141人
あったか手打ちうどん工房	3/7	25人	25人
手作りピザ工房	3/14	29人	29人
おおたばら収穫祭	11/3	コロナ感染予防のため中止	

ボランティアと指導者の育成・連携

事業名	期日・期間	実人数	延べ人数
学びの里シャトルファーム	(年6回実施)	コロナ感染予防のため中止	
キャンプ指導者研修会	9/26~27 (1泊2日)	10人	20人
スキルアップセミナー「わくわくキャンプ超会議」	2/21 (オンライン)	21人	21人
キャンプインストラクター講習会	未定	コロナ感染予防のため中止	
キャンプカウンセラーリーダー養成冬バリューパック	3/9~11 (2泊3日)	6人	18人
ステップアップキャンプ	(3/30~3/31 1泊2日) →3/31の日帰りで実施	11人	11人
☆わくわくキャンプ超会議Ⅱ	3/20	15人	15人
☆ハイブリット体験活動	11回 (オンライン)	125人	125人
☆学生ボランティア養成会議・研修等	20回 (オンライン)	215人	215人

※☆はコロナ対策としてコロナ禍に対応した令和2年度限定の新規事業

令和2年度 周南市大田原自然の家 利用実績

月	区分	学校教育関係			社会教育関係			主催事業 (主催事業ボランティア数)	ボラン ティア	その他 受入団体	出張 指導	合計	使用料 (単位:円)
		小学校	中学校	その他	少年団体	青年団体	その他						
4	実人数							()				0	0
	延人数							()				0	
	団体数											0	
5	実人数						69	(0)				69	0
	延人数						69	(0)				69	
	団体数								4			4	
6	実人数						203	(13)				203	0
	延人数						203	(13)				203	
	団体数								10			10	
7	実人数						282	(28)		30		312	6,690
	延人数						282	(28)		49		331	
	団体数								14	2		16	
8	実人数				37		406	(52)		45		488	17,000
	延人数				55		406	(52)		68		529	
	団体数				2				21	4		27	
9	実人数	16	196		49		25	95	(1)		10	391	21,850
	延人数	26	196		88		25	105	(1)		10	450	
	団体数	2	3		1		1		7		1	15	
10	実人数	234					7	253	(87)		23	517	0
	延人数	301					7	253	(87)		23	584	
	団体数	4					1		14		1	20	
11	実人数							366	(78)	33		399	8,640
	延人数							366	(78)	45		411	
	団体数								17	3		20	
12	実人数							114	(39)	26	194	334	8,800
	延人数							114	(39)	43	194	351	
	団体数								7	3	3	13	
1	実人数							12	()	6	165	183	0
	延人数							12	()	6	165	183	
	団体数								1	2	2	5	
2	実人数							92	(8)		150	242	0
	延人数							92	(8)		150	242	
	団体数								5		3	8	
3	実人数				45			313	(52)	4		362	4,505
	延人数				45			327	(54)	4		376	
	団体数				2				14	1		17	
合計	実人数	250	196	0	131	0	32	2,205	(358)	10	134	542	67,485
	延人数	327	196	0	188	0	32	2,229	(360)	10	205	542	
	団体数	6	3	0	5	0	2		114	3	12	10	
前年度	実人数	369	21	131	252	47	196	3,220	(534)	25	657	771	311,035
	延人数	738	63	255	379	94	354	4,381	(1,040)	25	858	898	
	団体数	10	1	5	11	1	5		107	5	34	12	

※主催事業の () の数値は主催事業に関わったボランティア

IV 庶務事項

1. 組織

(1) 理事

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
藤井律子	令和 2年6月28日		理事長
梶山正一	平成30年6月27日	令和 2年6月28日	副理事長
内山浩昭	令和 2年6月28日		副理事長
原田英夫	〃	令和 3年3月31日	常務理事
中馬好行	〃		
小林高志	〃		
船崎美智子	〃		
福原和子	平成30年6月27日	令和 2年6月28日	
磯部保夫	令和 2年6月28日		
宗貞洋治	〃		
渡辺明彦	〃		
佐藤貴志	〃		

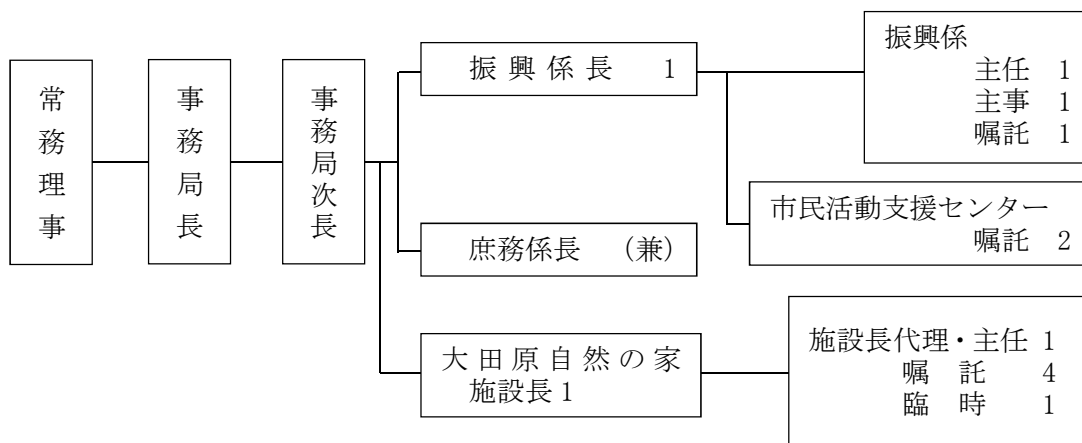
(2) 監事

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
西田了	令和 2年6月28日		
村川哲夫	平成30年6月27日	令和 2年6月28日	
有馬孝志	令和 2年6月28日		

(3) 評議員

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
松田喜八郎	平成28年6月17日	令和 2年6月28日	
田村隆嘉	令和 2年6月28日		
内山浩昭	平成28年6月17日	令和 2年6月28日	
福原和子	令和 2年6月28日		
秋貞啓子	〃		
田中典子	〃		
飯田圭子	〃		
片山研治	〃		
宮脇敏哉	平成28年6月17日	令和 2年6月28日	
羽田司	令和 2年6月28日		
合田幸二	平成29年6月28日	令和 2年6月28日	
渡辺隆	令和 2年6月28日		
宮本勲	平成31年3月20日	令和 2年6月28日	
西昭則	令和 2年6月28日		

(4) 事業推進体制



2. 会議の開催

(1) 理事会

回	開催年月日・会場	議 案
1	令和2年6月1日 決議の省略	① 令和元事業年度事業報告及び計算書類の承認について ② 令和2事業年度補正予算について ③ 周南市大田原自然の家の指定管理者の申請について ④ 決議の省略の方法による評議員会の招集について
2	令和2年7月27日 決議の省略	① 代表理事（理事長）の選任について ② 副理事長の選任について ③ 業務執行理事（常務理事）の選任について
3	令和3年3月17日 決議の省略	① ふるさとづくり推進プランⅣの策定について ② 第4期経営改善計画の策定について ③ 給与規程細則の一部を改正する細則の制定について ④ 有期職員就業規則を廃止する規則の制定について ⑤ 嘱託、臨時及びパート職員就業規則の制定について ⑥ 令和3事業年度事業計画及び収支予算等の承認について ⑦ 決議の省略の方法による評議員会の招集について

(2) 評議員会

回	開催年月日・会場	議 案
1	令和2年6月28日 決議の省略	① 令和元事業年度事業報告及び計算書類の承認について ② 令和2事業年度補正予算について ③ 評議員の選任について ④ 役員の選任について
2	令和3年3月22日 決議の省略	① ふるさとづくり推進プランⅣの策定について ② 第4期経営改善計画の策定について ③ 令和3事業年度事業計画及び収支予算等の承認について ④ 役員の選任について

3. 登記及び届出

(1) 登記

登記年月日	登記事項	申請先
令和2年8月 6日	理事及び評議員の変更	山口地方法務局

(2) 行政庁への届け出、申請

年 月 日	届 け 出 ・ 申 請 事 項
令和2年6月30日	事業報告等の提出
令和2年8月25日	変更の届出（理事及び評議員の変更）
令和3年3月31日	事業計画書等の提出

附属明細書

令和2事業年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。